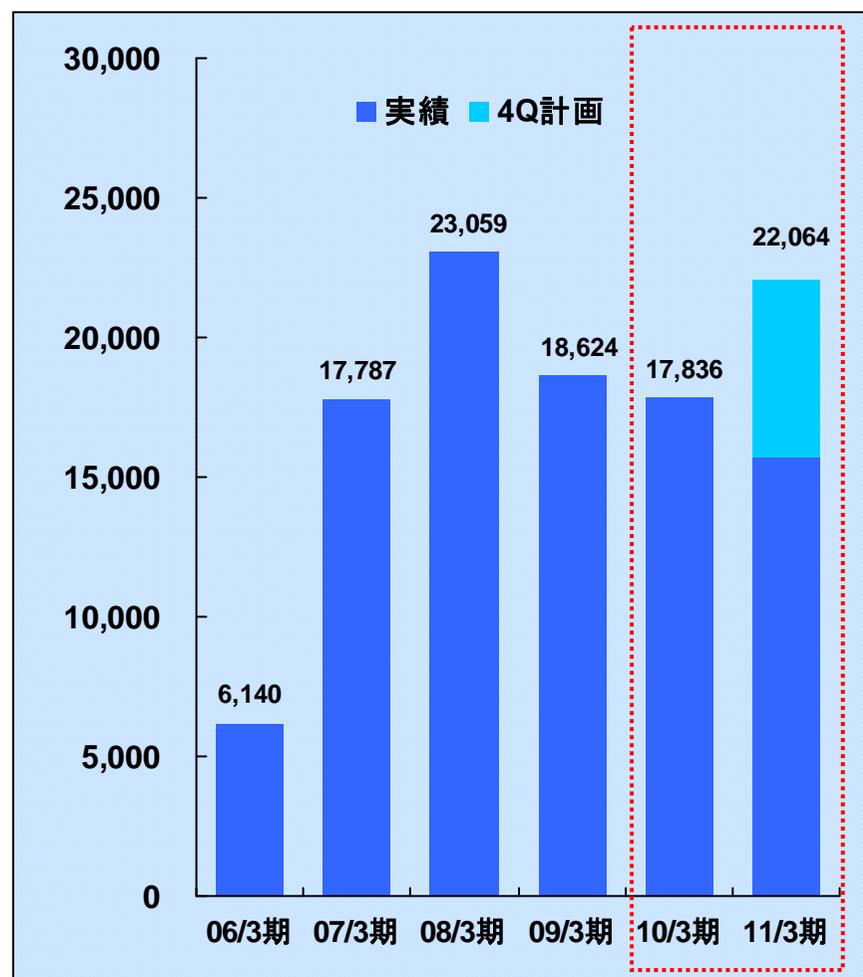


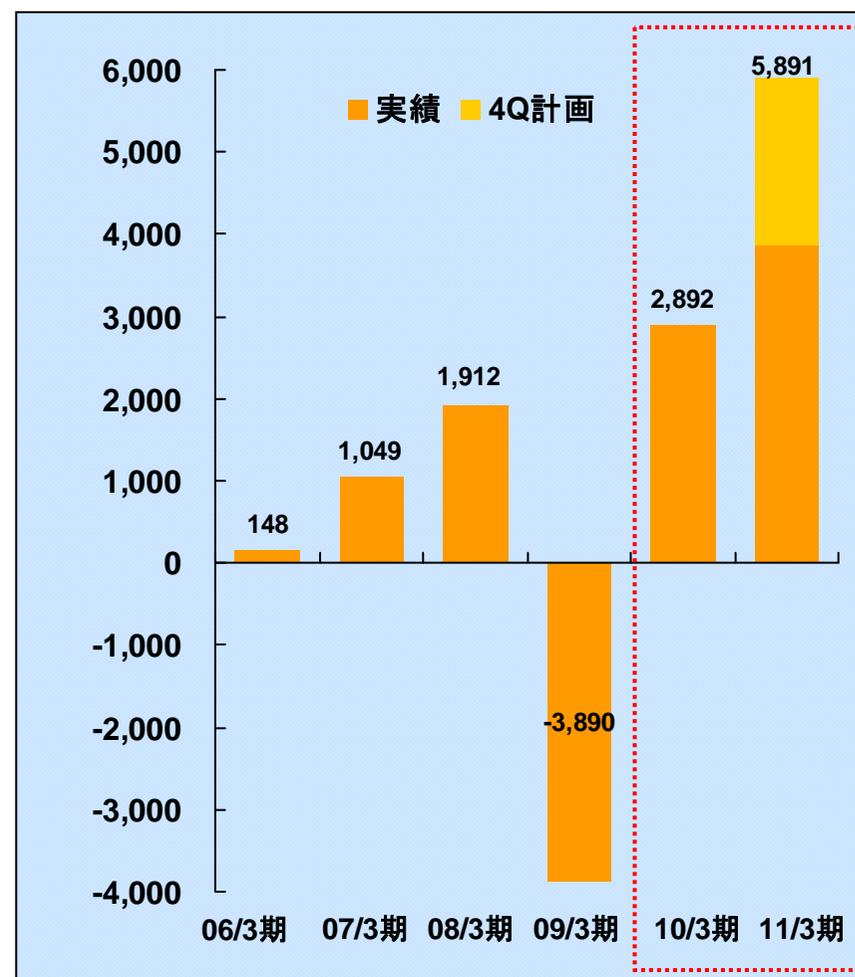
# 2011年3月期第3四半期業績説明

# 売上高及び営業利益推移

## 売上高推移



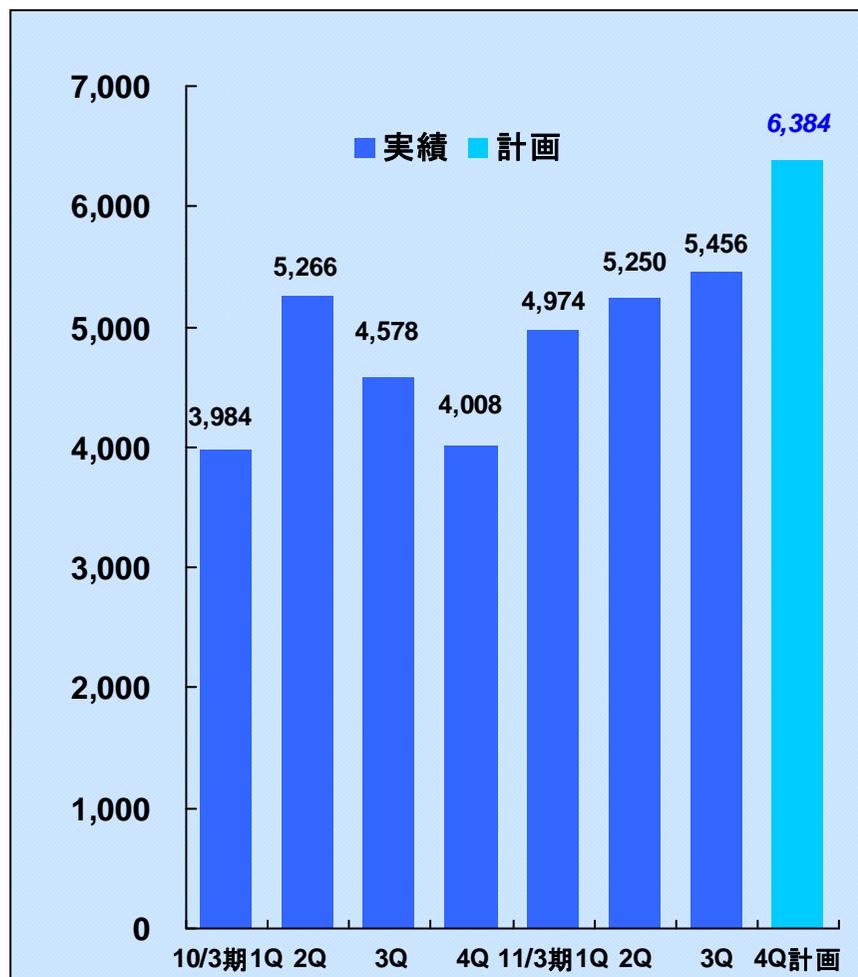
## 営業利益推移



単位:百万円

## 四半期毎の推移

売上高推移



営業利益推移



単位:百万円

## 第3四半期までの半導体市場

- **メモリ関係**

- DRAM

- スマートフォン、タブレットPCなどの増加の影響で、ノートPCの販売下落等による過剰感から、価格下落

- **システムLSI関係**

- SoC

- デジタル家電の販売好調など順調に推移

- イメージセンサ

- デジタルカメラ、モバイル製品などの用途で順調に拡大

## 第3四半期までの当社の状況①

- **メモリ事業**

- DRAM市況の影響からPC用汎用DRAM減少
- スマートフォン等の好況からモバイル用DRAM増加
  - 負荷の増加に対応し、最新テスト装置の投資踏み上げ
- 台湾TeraPowerの新社屋購入



**稼働率は堅調に推移し、売上・収益に貢献**

## 第3四半期までの当社の状況②

- システムLSI事業
  - SoCは国内の価格競争で売上低調
  - イメージセンサは予定どおり拡大  
(イメージセンサ用最新型テスト導入)
  - アナログビジネスのスタート  
(パワーコントローラー用テスト導入)
  - WLPのターンキーサービス開始



注力分野や新分野の展開あるも、費用先行も  
あり赤字解消には至らず

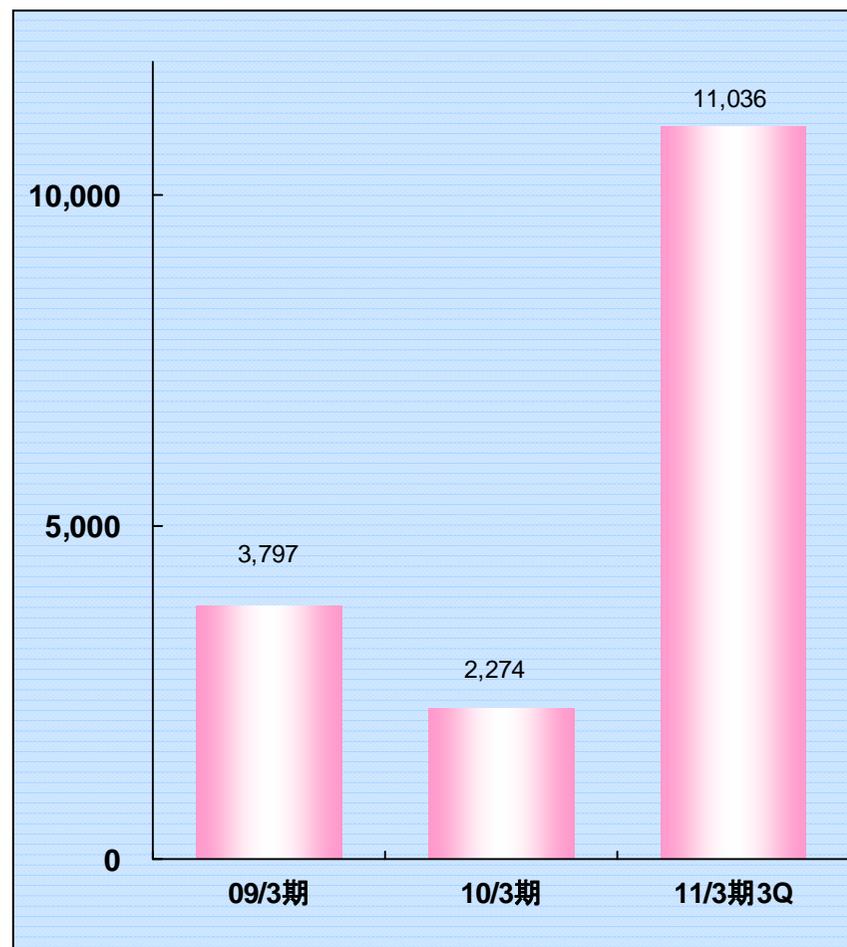
## 第3四半期までの当社の状況③

### 財務状況

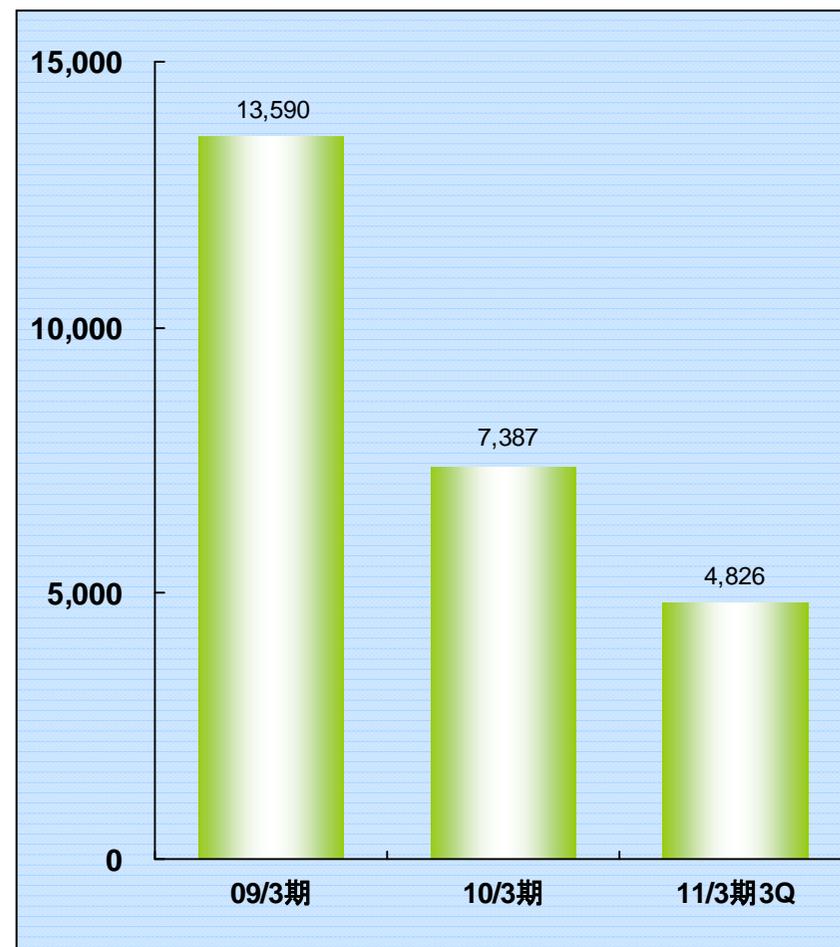
- 2010年12月に東証マザーズ上場
- 上場に伴う増資により、44.4億円の資本強化
  - 設備投資の増加→総資産の増加があるものの良好な自己資本比率維持
  - 追加投資余力を確保

# 設備投資及び減価償却

## 設備投資額推移



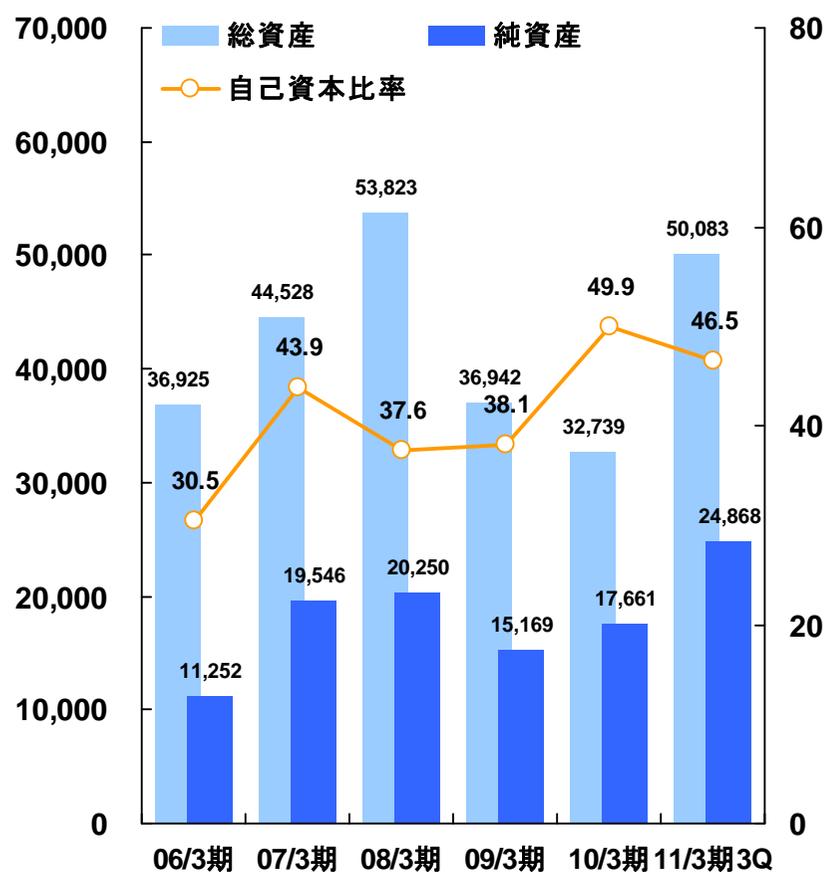
## 減価償却費推移



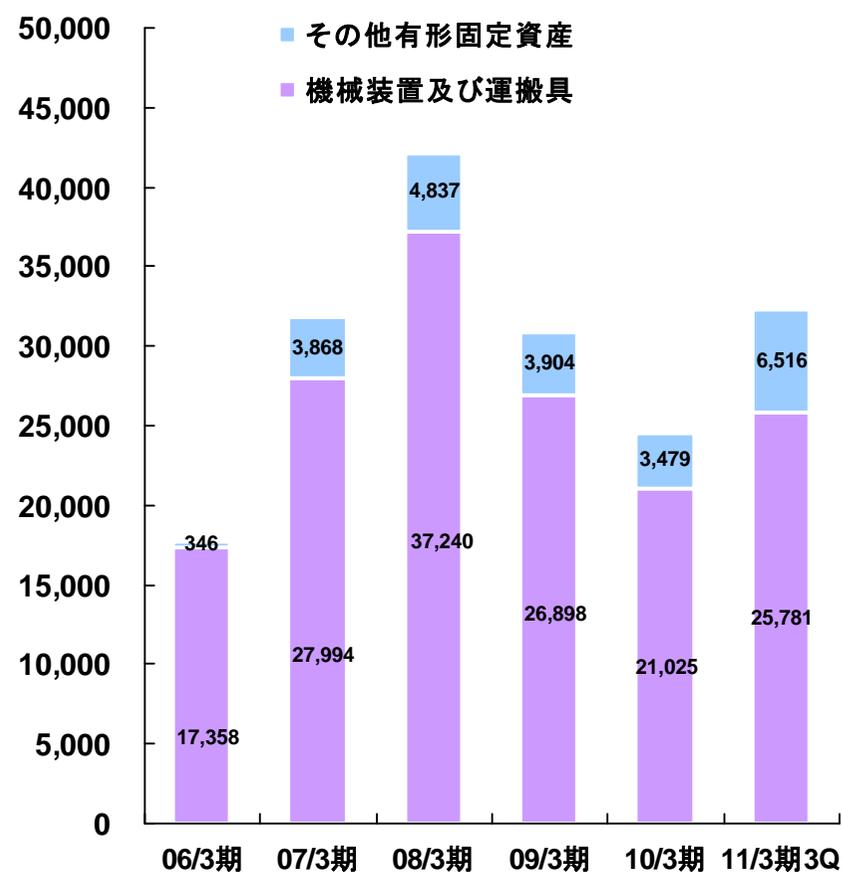
単位：百万円

# 第3四半期財務状況①

## 総資産・純資産・自己資本比率



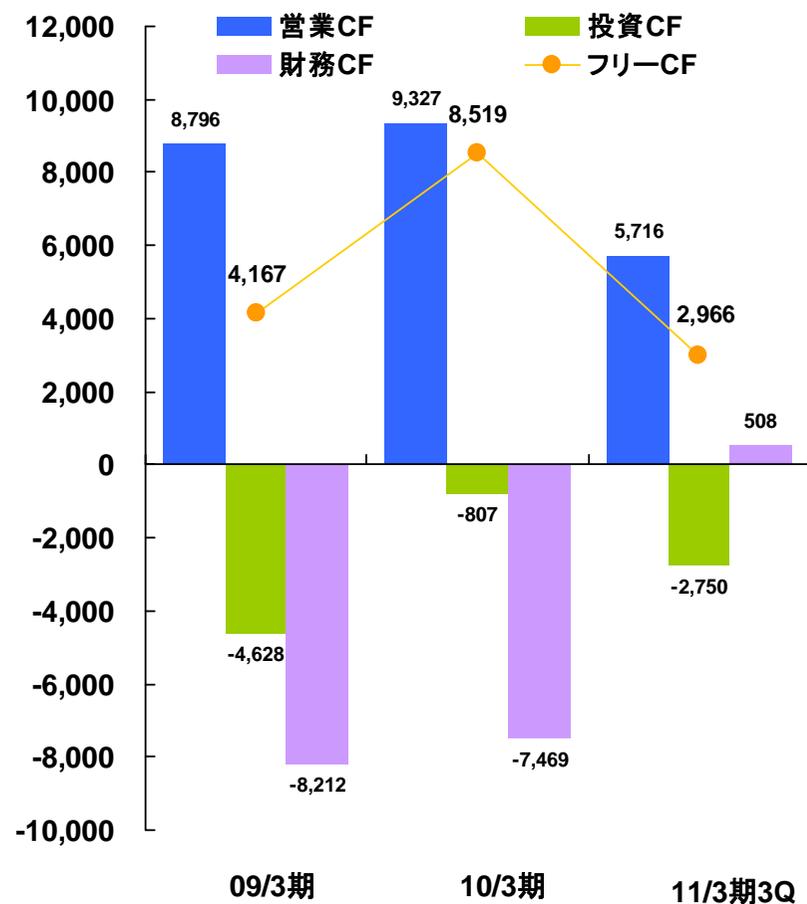
## 有形固定資産の推移



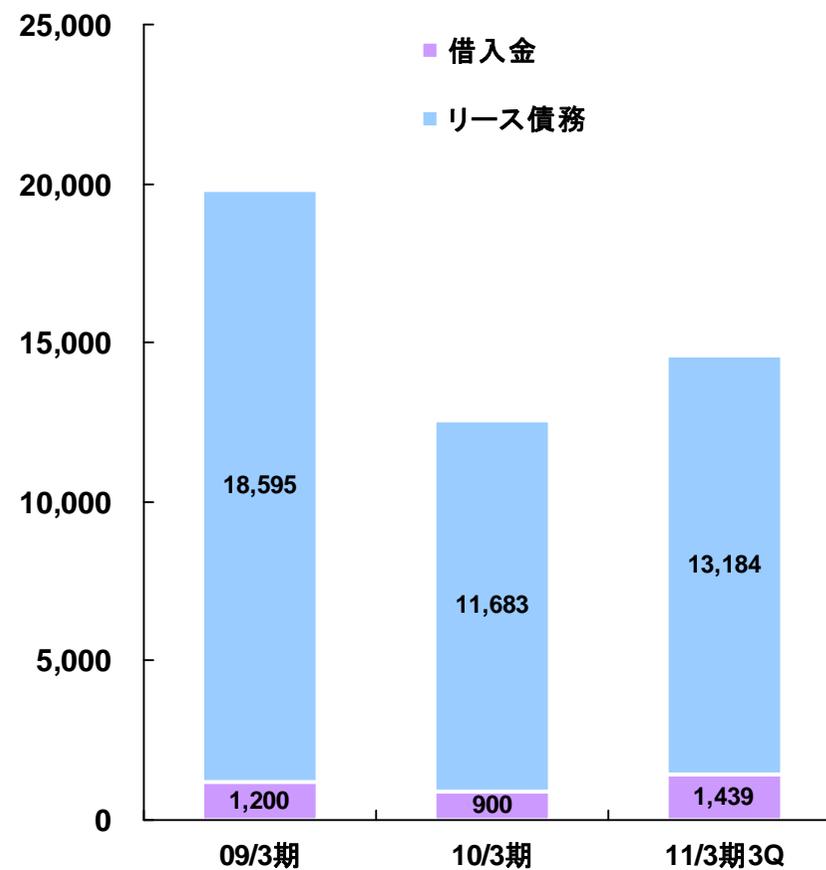
単位:百万円

## 第3四半期財務状況②

キャッシュフロー



借入金・リース債務残高



単位:百万円

## 今後の取組み

- **メモリ事業**
  - 増強した設備の稼働率を高く維持
  
- **システムLSI事業**
  - 受託開始・拡大する製品の迅速な立ち上げ
  - 台湾での早期展開
  - イメージセンサの受注拡大
  - ターンキーソリューションによる受注拡大
  - サポート体制を強化し、顧客との連携を強化

## 本資料における注意事項等

- 本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社テラプローブ(以下、弊社)の現状を理解していただくために作成したものです。
- 本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 投資を行う際は、必ず弊社が作成する「平成23年3月期第3四半期決算短信」をご覧ください。また、投資家ご自身の判断において行っていただきますよう、お願い致します。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

株式会社テラプローブ IR室

TEL (045)476-5711

URL <http://www.teraprobe.com>